

社会福祉法人花草会 令和7年度 事業計画

基本理念

感謝と感動で喜びを共有し 地域の人々が安心と希望のある生活ができるよう支援します。

運営方針

“うたしあ”とは、「**う**れしい」「**た**のしい」「**し**あわせ」「**あ**りがとう」の頭文字を組み合わせた造語です。“うたしあ”のご利用者、そのご家族、地域の皆様、そしてここで働く職員が、感謝と感動で喜びを共有し、いつまでも「うれしい」「たのしい」「しあわせ」「ありがとう」の言葉で心が満たされているホームを目指します。

- 1 暖かい思いやりの心でご利用者様の尊厳を守ります。
質の高い介護サービスを実践します。
- 2 積極的に地域社会との交流、対話を密にし、地域の要望に応えていきます。
- 3 法令及び社会的規範を遵守し、記録、報告は正確に行います。
個人情報、厳正に管理します。
- 4 5S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）の徹底に心がけます。
良好な人間関係の元に、人間尊重の理想の職場を創ります。
職位、TPOを意識して、正しい言葉（敬語）遣いをします。
- 5 ご利用者様及び地域社会に信頼され、愛される法人で在り続けます。

令和7年度 重点目標

法人の長期的な存続を図るためには、“うたしあ”の安定した経営基盤を確立することが求められますが、そのためには、地域の皆様に信頼され、選ばれる施設となれるよう介護サービスの向上に努めることが大変重要なことです。昨年度は、各部門での取り組みにより目標達成または目標達成に近づく結果が得られました。今年度は、職員全員が初心に返り、ご利用者様、ご家族様に寄り添ったより上質な介護サービスの提供に努めていくことで、以下のとおり事業全体の稼働率アップと安定経営を目指していきます。

(1) 収益増に向けた平均利用人数のアップ

① 特養	令和6年度平均利用人数（見込）	83.8 人
	令和7年度平均利用人数（目標）	88.0 人

- ・年間 365 日の入居申込み相談対応により入居申込者の確保（入居待機者の増）を図ります。
- ・行政、病院及び関係機関との連携強化を図り、施設入所への積極的な情報収集に努めます。
- ・きめ細かな介護サービスを提供できるよう、職員の育成・研修に努めます。

② ショートステイ	令和6年度平均利用人数（見込）	9.1 人
	令和7年度平均利用人数（目標）	9.3 人

- ・「また利用したい」と思っていただけよう、ご利用者様への配慮と交流に努めます。
- ・介護職員の増員を図り、安定した受入体制の構築に努めます。

③ デイサービス	令和6年度平均利用人数（見込）	25.0 人
	令和7年度平均利用人数（目標）	26.0 人

- ・Instagram等を活用し、ご利用者のご様子やデイサービスの取り組み等の情報発信に努めます。
- ・施設の情報発信と利用希望の柔軟な受入対応に努めることで居宅介護支援事業所との関係強化を図り、利用者の増員に努めます。
- ・地域のサロン等への出張レクにも出向き、地域の方々との繋がりを大切にしていきます。

④ 居宅支援	令和6年度平均契約件数（見込）	104.8 件
	令和7年度平均契約件数（目標）	112.0 件

- ・包括支援センターとの連携に努め、契約者の確保を継続的に図っていきます。

(2) 人材確保（人材育成）

- ・求人活動による人材確保は年々厳しくなっていますが、学校訪問や行政が主催するインターンシップ事業等にも積極的に参加し、新卒採用職員の確保に努めます。また、現在就業されている4名の特定技能外国人職員が介護の資格を取得できるよう人材育成にも努め、あらたな特定技能外国人の増員（予定：2人）

も進めていきます。

- “うたしあ”の福利厚生面の優遇面（採用時からの年次有給休暇付与、看護休暇等の有給対応等）等働きやすい職場であることの広報に努め、求人活動を行っています。
- 新卒職員への福祉の仕事への取り組み方法や精神面でのフォローアップを行っています。また、職員一人ひとりがやり甲斐を持って仕事に取り組めるよう、職員の要望意見を尊重して、職場環境の改善に努めます。
- 施設内外の研修への参加を積極的に進め、専門性としての知識の習得・技術の向上に努めます。

（３）家族との交流

新型コロナウイルス等の感染症においては、まだ予断を許さない状況ではありますが、これまで感染症への配慮により開催を控えておりました入居者様ご家族との「懇親会」や、ご利用者様ご家族をお招きする「夏まつり」等について、感染対策を講じながらの開催を計画し、ご利用者様、ご家族様等に施設諸行事への参加を促すことで、施設の取り組みと提供する介護サービスをご理解いただき、良好な関係構築に努めます。

（４）地域との交流

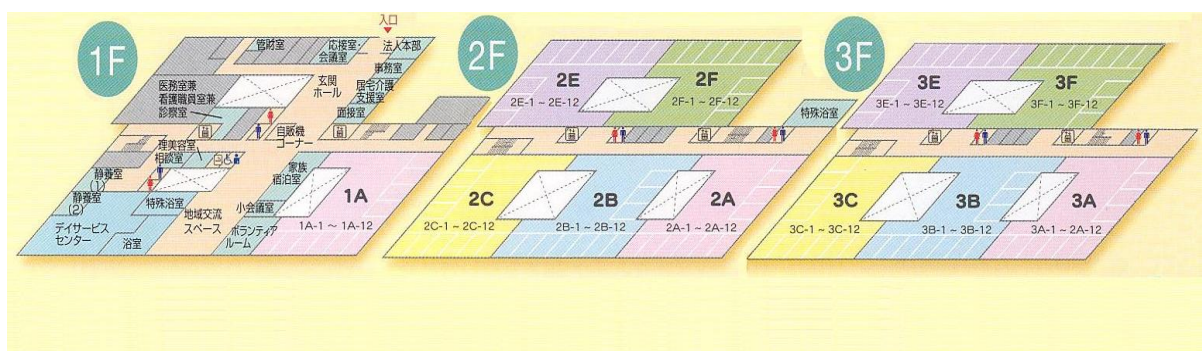
地域に根差した施設であり続けるために、地域の方々とのつながりを大切にしています。

- 入居者様と地域の方々との交流が図れるような季節のイベントを企画し、地域の方々への感謝の気持ちを伝えていきます。
- 地域の保育園や幼稚園等の子どもたちによる施設訪問の受入れを積極的に進め、施設入居者様との交流を進めていきます。
- 地域のボランティアの方々の方々の受入れを積極的に進めていきます。
- 地域の団体等の方々からの介護予防や介護技術のご指導等の要望には職員を講師として派遣し、積極的に対応していきます。

（５）事業継続に向けた取り組み

「業務継続計画」（BCP）に基づき、災害や感染症などにあっても最低限のサービス提供が維持できるよう、緊急時の職員の招集方法や飲料水、食料、マスク等の衛生用品、冷暖房設備や空調設備稼働用の燃料などの確保を進め、災害を想定した避難誘導訓練を行っています。

施設概略図



施 設 概 要

名 称	特別養護老人ホーム うたしあ
建 物	鉄骨造（耐火構造）3階建
住 所	静岡県牧之原市道場43番地
敷地面積	9,985.63㎡
延床面積	5,780.86㎡
	ユニット 1A・2A・2B・2C・2E・2F・3A・3B・3C・3E・3F 浴室（個浴・特浴） 調理室 汚物処理室 洗濯室 更衣室 職員休憩室 応接室 会議室 事務室 医務室兼看護職員室 介護職員室 職員休憩室

開設事業所

平成17年 5月1日	うたしあ指定居宅介護支援事業所	
平成17年 9月 1日	特別養護老人ホーム うたしあ	定員 80人
	老人短期入所事業 うたしあ	定員 30人
	老人デイサービス事業 うたしあ	定員 40人
平成18年 4月 1日	介護予防 老人短期入所事業	
	介護予防 老人ディサービス事業	
平成21年 5月 1日	特別養護老人ホーム定員増	定員 90人
	短期入所転換	定員 20人
平成29年 9月 1日	老人デイサービス事業 うたしあ	定員 30人
	一体型通所デイサービス事業うたしあ	定員 10人(併設型)
	生活機能向上型デイサービス事業うたしあ	定員 10人(併設型)
平成30年 3月31日	介護予防 老人ディサービス事業 終了	
令和 5年 3月31日	生活機能向上型デイサービス事業 終了	

【理事名簿】

氏 名	住 所	主な社会福祉事業歴
三浦 進	牧之原市波津	特養理事長、元社会福祉協議会評議員
佐藤 晴史	静岡市葵区	元民生委員児童委員
知久 正博	吉田町片岡	会計顧問
良知 厚子	牧之原市坂部	元民生委員児童委員
森田 俊廣	牧之原市静波	元人権擁護委員
大村 拓也	静岡市葵区	特養施設長
小田 嘉巳	牧之原市静波	特養事務長

【監事名簿】

氏 名	住 所	主な社会福祉事業歴
伊藤 和義	牧之原市福岡	社会福祉法人正廉会監事
山本 正己	牧之原市片浜	静岡県社会教育会委員

【評議員名簿】

氏 名	住 所	主な社会福祉事業歴
佐藤 寛	牧之原市細江	法人評議員
堀池 勇	牧之原市波津	元社会福祉協議会評議員 ほか
大石 幸雄	牧之原市静波	民生委員推薦会委員
原口 佐知子	牧之原市地頭方	元社会福祉協議会評議員 ほか
渡邊 美穂子	牧之原市菅ヶ谷	元人権擁護委員
板倉 憲子	牧之原市坂口	元民生委員児童委員 ほか
山本 君代	牧之原市勝俣	民生委員児童委員 ほか
大久保 民子	牧之原市静波	法人評議員

【苦情処理・優先入所検討委員会第三者委員名簿】

氏 名	住 所	備 考
板倉 憲子	牧之原市坂口	民生委員児童委員、社会福祉協議会評議員
山本 君代	牧之原市勝俣	民生委員児童委員、元人権擁護委員

【評議員選任解任委員会委員】

氏 名	住 所	備 考
伊藤 和義	牧之原市福岡	法人監事
大石 哲生	牧之原市細江	牧之原市自治基本条例推進会議委員 ほか
福島 栄敏	藤枝市大洲	法人職員

生活相談員事業計画 (長期入所・短期入所)

事業開始年月日	平成17年9月1日 特別養護老人ホーム うたしあ 平成21年5月1日 定員増(10名)
定員	90名(10名定員 9ユニット)
事業開始年月日	平成17年 9月1日 老人短期入所事業 うたしあ 平成18年 4月1日 介護予防老人短期入所事業 うたしあ 平成21年 5月1日 長期転換(10床)
定員	20名(10名定員 2ユニット)

(長期入所)

方針

- ・意思及び人格を尊重し、サービスの提供に関する計画に基づき入所前の生活と入所後の生活が連続したものとなるように配慮しながら、各ユニットにおいて相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援します。
- ・地域や家族との結びつきを重視し、市町やその他の保健医療サービスまたは福祉サービスを提供するものとの密接な連携に努めていきます。

取り組み

- 1 施設の相談窓口として、信頼をしていただけるように誠実な説明と対応に努めます。
- 2 入居者、ご家族の気持ちに寄り添い、求められるニーズに応えられるように努めます。
- 3 行政・病院・関係機関及び他施設との連携強化を図り、繋がりを大切にします。
- 4 静岡県指定介護老人福祉施設優先入所指針に基づき、必要度の高い方から、施設入所の円滑な実施を図ります。
- 5 法令、制度を遵守したサービスを提供します。

目標

- 入居者のご要望に丁寧に応じることにより、入居満足度を高めていきます。
- 感染対策に留意し、入居者と家族が触れ合える機会を増やすように努めていきます。
- 申込状況により、優先入所検討委員会を随時開催し、円滑な調整を図ります。
- 各総合病院と連携し、入退院の調整・待機者調整・入居調整を円滑に進めます。

入居までの流れ

- ① 入居相談、お申し込みは随時承ります（土日祝でも対応させていただきます）。
- ② お申し込みの際に、面談にて特別養護老人ホーム概要の説明、利用料金（介護保険負担限度額認定制度）の説明、入居希望者の状況をご確認させていただきます。
- ③ お申し込み者の状況を、優先入所指針に基づき、得点化を行います。
- ④ 優先入所検討委員会を申込状況により随時開催し、優先順位を確定します。
- ⑤ 待機順位が上位の方より相談員から連絡し、入居のご意向を改めてお伺いします。
- ⑥ 入居のご意向が確認できましたら自宅や病院等に訪問し、現在の心身の状況を確認させていただきます。
- ⑦ 空床が発生しましたら、ご家族と関係機関へ円滑に入居調整を進めさせていただきます。
- ⑧ 入居前にご家族と契約に関する書類説明を行います。ご理解を頂いたうえで入居調整を進めて参ります。
- ⑨ 入居当日は、施設より送迎をさせていただきます。入居された後も、ご家族様の支援や相談に応じさせていただきます。

（短期入所）

方 針

- ・ ご本人、ご家族が安心して利用できるサービスの提供を行います。

取り組み

- 1 「また利用したい」と思っただけのショートスティを目指します。
孤立感や孤独感を感じさせないよう、ご利用者様への配慮と交流に努めます。
- 2 サービスの質の向上を図ります。
ケアプランを把握し、適切なサービスを提供と個々のニーズに応じたケアの実践により安全で快適な環境作りに努め、事故を未然に防ぐ対策を行います。
- 3 ご家族との信頼関係を密に行います
報告・連絡・相談を円滑に行うことで、信頼関係作りに努めます。
ご家族のニーズに沿った柔軟な対応ができるように努めます。
- 4 職員一人一人が感染症の特徴を理解し感染予防に取り組みます。
利用者様、職員の心身の状態を把握し、早期の対応ができるように努めます。

医務室事業計画

医務方針

- ・ご利用者様の状態把握に努め、質の高いケアの実践を目指す。
- ・ご利用者様、ご家族様に寄り添った看取りケアを実施する。

医務目標

(1) 長期目標

- ・その人らしく生活できるように健康面をサポートする。

短期目標

- ・日々の健康管理、異常の早期発見に努める。
- ・ご家族と相談し適切な時期に医療提供できるよう嘱託医や医療機関と連携していく。
- ・転倒、転落による受傷予防対策に努める。
- ・感染症を持ち込まないための予防、発生時のまん延防止

(2) 長期目標

- ・その人らしく穏やかに最期を迎えられる看取りケアができる。

短期目標

- ・適切な時期に多職種と連携しカンファレンスを行う
- ・情報を共有し共通認識のもと看取りケアに関わる
- ・時期を設定し、多職種とケースの振り返りを行い評価及び課題抽出を行う。

入居部門事業計画

運営方針

- 1 安全で快適な生活環境の提供
利用者が安心して生活できるよう衛生的な環境の維持や施設内での適切な介護サービスの提供を行います。
- 2 職員の質の向上
職員の教育・研修を行い質の高い介護サービスを提供していきます。

重点目標

- ① 親、祖父母を、この施設に入居させたいと思える介護を提供します。
- ② 利用者の尊厳を尊重し人間らしい生活を支援していきます。
- ③ 個々の利用者のニーズに合わせたきめ細かな介護サービスを提供します。
- ④ 個々に合わせた育成・研修を実施します。
- ⑤ 外部研修への積極的参加を促します。

入居部門研修計画

チームケア研修(1～2年目職員)

月 日	時 間	テ ー マ
4月15日(火)	16:00～16:30	基本介護(食事・排泄・入浴)
7月15日(火)	16:00～16:30	報告・連絡・観察・記録
10月15日(水)	16:00～16:30	フィードバック

中級リーダー研修(3～5年目職員)

月 日	時 間	テ ー マ
5月15日(木)	16:00～16:30	入所・退所の対応
8月15日(金)	16:00～16:30	後輩指導
11月14日(金)	16:00～16:30	介護過程の展開

ユニットリーダー研修(6～10年目職員)

月 日	時 間	テ ー マ
6月13日(金)	16:00～16:30	チームの管理、部下指導育成
9月15日(月)	16:00～16:30	緊急時の対応・他部署との連携
12月15日(月)	16:00～16:30	勤務作成・欠員時の調整方法

居宅介護支援 事業計画

業開始年月日	平成 17 年 5 月 1 日 うたしあ指定居宅介護支援事業所
事業実施地域	牧之原市 ・ 吉田町 ・ 御前崎市（旧御前崎町）

基本事業方針

牧之原市等の保険者、サービス提供事業者、医療機関ならびに地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等、関係機関との連携を図りながら、地域の介護ニーズを積極的に把握するよう努めます。そして利用者が可能な限り住み慣れた居宅や地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮し、ご利用者に適切なサービスの提供が確保されるように努めます。

重点的な取り組み

1 居宅介護支援の質の向上

- 各種制度の理解を深め円滑な支援につなげることができるように、静岡県介護支援専門員協会等が行う研修、牧之原市や牧之原市主任ケアマネジャー連絡会が行う事例検討会や講演会、併せて吉田牧之原ケアマネジャー連絡会が行う研修会へ参加して専門職としての資質向上を図ります。
- 居宅介護支援の提供にあたりサービス利用方法等について、ご利用者及びご家族の方々に、できるだけ理解していただきやすいような懇切丁寧な説明に努めます。また、ご利用者及びご家族の意向を確認しながら適切なサービス利用につなげることができるように、居宅サービス計画の作成や連絡調整を行います。
- 利用者に関する情報等を共有する会議（事例検討含む）を定期的に関催し、ケアマネジャー相互にケースの状況を把握して相談、助言を受けられる場をつくります。
- 24時間の連絡体制を確保し、ご利用者やご家族の相談に対応します。
- 介護保険サービス以外に提供される生活支援サービス（インフォーマルサービス含む）が包括的に提供されるような居宅サービス計画を作成します。
- 地震等の災害時もケアマネジメント業務が継続できるように BPC を作成し、事業が継続できるようにします。
- 感染症対策を十分行い業務を行います。

2 運営基盤の強化

- ・主任介護支援専門員 1 名と介護支援専門員 2 名の 3 人体制でケース対応を行うことで特定事業所加算Ⅲを算定します。そして運営基盤強化の為にケアマネジャーの増員に努めます（特定事業所加算Ⅱの算定が得られるようにします）
- ・積極的に新規ケースの受入れを行います。地域包括支援センターや病院（患者支援センター等）に対して定期的に受入ができることを情報発信します。
- ・特定事業所加算Ⅲを算定するため、他法人との共同研修会への参加、介護支援専門員実務者研修（ケアマネジャー試験合格者）の見学実習の受入を行います。
- ・介護支援専門員資格（有効期間：5 年）を更新する為の法定研修は、個々の有効期間に合わせて受講できるよう計画します（研修費等を補助します）。

令和 7 年度 目標件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
要介護者	95 件	95 件	97 件	97 件	99 件	99 件
要支援者	12 件	12 件	12 件	12 件	12 件	12 件
合計	107 件	107 件	109 件	109 件	111 件	111 件
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
要介護者	101 件	101 件	103 件	103 件	105 件	105 件
要支援者	12 件	12 件	12 件	12 件	12 件	12 件
合計	113 件	113 件	115 件	115 件	117 件	117 件

3 職域団体や地域のサービス事業所、関係機関との連携強化

- ・吉田牧之原ケアマネジャー連絡会へ入会して、他事業所の介護支援専門員と交流を図るとともに、地域包括支援センターやサービス提供事業所等との連携を図ります。
- ・牧之原市がケアマネジャーに対して行うケアプラン点検や介護予防ケアプラン会議に出席しケアマネジャーの視点で助言することにより、ケアマネジャーが自立支援のケアプランが作成できるよう支援します。
- ・静岡県介護支援専門員協会に加入（個人）し、厚生労働省が発する情報や動向等について情報を得ます。今後の制度の動きや方向性について理解を深めます。

デイサービス事業計画

事業開始年月日	平成17年9月1日 老人デイサービス事業 うたしあ 平成29年9月1日 一体型通所デイサービス事業 うたしあ
定 員	月・木・土 30名 火・水・金 40名
営 業 日	月曜日～土曜日（12月31日～1月3日を除く）
サービス提供時間	9:00～16:05（時間延長もできます。別途料金）
送迎範囲	原則として 牧之原市・吉田町（片道約30分以内）

運営方針

【心身ともに寄り添う介護】

ご利用者が笑顔で過ごせるよう、必要な日常生活上の援助、動作訓練を行う中でご自身の存在を意識させるような関わりを持ち、社会とのつながりを継続させることで、ご利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持・向上、並びにご利用者ご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的としています。

重点目標

- 1 稼働率の向上（平均利用人数の目標 … 26人/日）
 - ・デイサービスでの活動の様子や取り組みを知ってもらうために、毎月のデイ便りやホームページ・インスタグラム等で情報発信していく。
 - ・ケアマネジャーや家族との連絡を密にし、信頼関係を築く。
 - ・居宅介護支援事業所へ月2回訪問し、訪問時にはデイ便りや空き情報のチラシを配布する。
 - ・用事等でお休みされる場合には、振替利用の提案を行う。
 - ・利用日以外でも希望があれば、追加利用の受け入れをする。
 - ・振替利用や追加利用が出来ることを伝えていく。
 - ・ボランティアを積極的に受け入れたり、地域サロン等への出張レクに出向き、地域の方々との繋がりを大切にしていく。
- 2 サービスの質の向上
 - ・介護のプロであることを意識し、日頃から丁寧な対応を心掛ける。
 - ・職員同士のコミュニケーションを密にし、報告・連絡・相談をしっかり行うことで、情報共有の徹底を図る。
 - ・「また明日も来たい！」と思ってもらえるサービスの提供をする。
 - ・職員研修や施設外の研修に積極的に参加し、介護技術の向上に努める。

- ・利用者の「安心」「安全」を守るために、リスクマネジメントに取り組み、防げる事故をおこさないようにする。
- ・業務改善に取り組み、利用者様との時間を大切にしていく。

デイサービス行事計画

<研修等>

スタッフミーティング・職員研修（毎月）
 スキルアップ研修（接遇等）
 施設外研修等（随時参加）

<対外活動>

各種ボランティアの受け入れ 地域サロン等への出張レク

	行事・レクリエーション活動		行事・レクリエーション活動
4月	ひな祭り	11月	祭典見学
7月	七夕祭り	12月	作品展出展及び見学 クリスマス会 正月準備（神社・門松）
8月	夏祭り	1月	初詣（うたしあ神社） 書き初め・正月遊び
9月	敬老会	2月	豆まき大会
10月	運動会	3月	お花見（桜）

<その他の活動>

お誕生日会・おやつ作り（毎月）
 笑いヨガ（月2回）
 防災レク（毎月）

体力測定（3ヶ月に1回）
 ドライブ・買い物・外食（随時）

栄養事業計画

目標

入居者様の希望に沿った食事作り、また栄養状態の維持と同時に精神面からも満足でき、心に潤いを与える食事作りを目指す。

基本計画

1 行事食

4月	旧暦ひな祭り…ちらし寿司	11月	えびす講…さくらご飯・甘酒
5月	八十八夜…新茶料理 端午の節句…ちらし寿司	12月	冬至…南瓜料理・ゆず クリスマス…ディナー・ケーキ 大晦日…年越しそば
6月	旧暦端午の節句…ちらし寿司	1月	正月…おせち料理・お雑煮 七草…七草粥 小正月…小豆粥
7月	七夕…特別献立 土用の丑の日…うなぎ	2月	節分…恵方巻き バレンタイン…行事菓子
9月	開設記念日…特別献立 十五夜…月見まんじゅう 秋分の日…おはぎ	3月	ひな祭り…ちらし寿司 春分の日…ぼたもち

2 栄養管理

- ・ 加齢に伴う各機能の低下を踏まえ、食事内容について考慮する。
- ・ 入居者様の食歴や身体状況、嗜好などの個人差を考慮した栄養管理を行う。
- ・ 低栄養状態に注意し、各部署と連携して定期的に栄養アセスメントを行い、栄養状態に問題がある入居者様の早期発見、対応をする。
- ・ 口腔ケアに関する知識を深め、誤嚥性肺炎を減らす。

3 衛生、安全

- ・ 衛生管理の教育、徹底（厨房内、ユニット）
- ・ 事故（異物混入、誤配膳）件数の減少
- ・ 食中毒感染防止の啓蒙
- ・ 厨房内の定位置化

4 食事サービス

- ・ 給食スタッフが喫食者を知り、入居者様が満足できる調理、盛り付けを工夫
- ・ 食事提供方法の工夫（適温給食、誕生日祝膳など）
- ・ 食事サービス会議、厨房ミーティングの実施（1回／月）

地域交流事業計画

目標

- ・地域に根差した施設であり続けるために、地域の方々とのつながりを大切にし、地域への感謝の気持ちを形にしていき、施設が存在が地域の共有財産となるよう努めていく。

計画

- ・入居者様と地域住民との交流が図れるよう季節のイベント事業を展開する。
- ・自治体、社会福祉協議会、ボランティア、老人会等、地域で活動する様々な団体への活動場所を提供する。
- ・地域の方々への介護予防や介護技術の情報発信や技術支援にも努めていく。（勉強会の開催や地域での講演等）

会議・委員会活動概要

運営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・継続性・安定性のある運営を行う。 ・苦情、意見に対する対応を行う。 ・その他運営に係る必要事項を決定する。
リスクマネジメント委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策担当者を配置し、組織的に介護事故の予防を強化する。 ・事故報告・ヒヤリハットを通して事例検討を行い、再発防止に努める。
安全衛生委員会 感染対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の労務上の健康管理・職場環境改善を行う。 ・標準予防策の周知・実施。研修時間を活用し実施及び机上訓練を行う。
身体的拘束適正化 検討委員会 虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束が無いことを原則とし、施設の基本方針の周知徹底を行う。 ・発生時には、施設全体で身体拘束廃止に取り組むとともに改善計画を作成する ・虐待が無いことを原則とし、施設の基本方針の周知徹底を行う。 ・発生時には、施設全体で虐待防止に取り組むとともに改善計画を作成する。
褥瘡対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡ケアの原因を排除し、身体の状態、栄養、皮膚状態を観察し褥瘡のリスクを検討し、状況に応じた対策を行い予防に努める。
生産性向上委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の質を維持・向上させつつ、介護現場の職場環境を働きやすく変えていくための対策を検討する。
口腔ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> ・口の中の清潔を保つことで口腔機能の維持、回復につなげ、体全体の健康や生活の質の向上を図る。
食事サービス会議	<ul style="list-style-type: none"> ・給食提供、給食設備の維持に関してサービス向上を図るため責任ある運営を行う。
優先入所検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「静岡県指定介護老人福祉施設優先入所指針」に基づき、入所申込者、入所判定と優先順位の検討を行う。
防災対策会議	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策マニュアル（火災・地震・津波・洪水等）を整備、見直しを行い災害時に迅速、的確に対応できるよう、防災力の強化を図る。
ユニットリーダー会議 デスタッフ会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニットの入居者様、デイサービス利用者様のケアの情報交換、問題対策等を検討する。スタッフ間の報告・連絡・相談を行う。
広報担当会議 (旧 HP 担当会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS を駆使して「うたしあ」の活動を発信する。 また、産業フェア等へ参加し地域の活性化に貢献する。
排泄推進担当会議	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄ケアの環境を整える。入居者様個々に沿った排泄ケアの見直しを行う。
職員研修会議	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉施設として社会的、地域的責任を果たし信頼される施設となるために職員の資質向上を図ることを目的に継続的、段階的に研修を計画し実施
行事企画担当会議	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様・利用者様のみならず、職員にとっても、より良い時間になるような行事活動を実施

令和 7 年度 職員研修計画

【施設内研修方針】

- ・ 介護福祉施設として社会的、地域的責任を果たし信頼される施設となるために職員の資質向上を図ることを目的に継続的、段階的に研修を計画し実施する。

《全職員研修》 毎月第 2 火曜日 18:30～（内容により変更あり）

藤田看護師による研修 毎週水曜 14:30～15:00

【施設外研修方針】

- ・ 施設外研修への参加を推進して新しい知識や手法を積極的に取り入れることにより専門知識、技術の向上に努め職員の資質向上を図る。

月 日	内 容	担 当
4 月	接遇 ～尊厳・倫理・介護への思い～	藤田看護師
5 月	リスクマネジメント(第 1 回) ～服薬方法・誤薬をなくそう～	藤田看護師
6 月 10 日(火)	排泄・褥瘡対策 ～スキンケアトラブルを知ろう～	排泄・褥瘡委員会 外部講師
7 月 8 日(火)	身体拘束・虐待(第 1 回) ～身体拘束 0 を目指して～	虐待防止・身体的拘束 適正化検討委員会
8 月	感染防止対策(第 1 回) ～感染対策の基本・手洗い・うがい～	藤田看護師
9 月 9 日(火)	防災対策 ～BCP 対策を知ろう～	防災対策会議
10 月	ターミナルケア(第 1 回)	藤田看護師
11 月	リスクマネジメント(第 2 回) ～事故防止と安全対策～	藤田看護師
12 月	認知症の理解と対応 ～中核症状と心理症状(BPSD)への対応～	藤田看護師
1 月 13 日(火)	感染防止対策(第 2 回) ～インフルエンザ・コロナウィルス対策～	感染対策委員会 外部講師
2 月 10 日(火)	身体拘束・虐待(第 2 回) ～現場で振り返る虐待・身体拘束～	虐待防止・身体的拘束 適正化検討委員会
3 月	ターミナルケア(第 2 回)	藤田看護師

令和7年度 リスクマネジメント委員会 活動計画

- ・ 事故予防活動に重点をおき、安全な介護ができる環境整備を進めます。
- ・ 経年劣化により、危険性が高まっている箇所の洗い出しと確認作業を行います。
- ・ 安全対策ルールの標準化、業務手順の危険性について確認を行います。
- ・ 発生してしまった事故に対しては、質で評価し、再発防止の徹底を図ります。
- ・ 想定されるリスクについて、ご家族のご協力がいただけるよう、説明方法の検討を進めていきます。

令和7年度 安全衛生委員会 活動計画

職員の心身の健康管理の把握・指導及び職場環境の衛生を改善・管理を行い、職員の健康保持に取り組む。

重点目標として、職員全員が心の健康問題について理解し、早期発見・早期対応ができる。また、メンタルヘルス不調への対応だけではなく、明るく働きやすい環境、職場作りを目指し、職場でのコミュニケーションの活性化などを含めた広い意味での心の健康づくりに取り組む。

健診実施計画

実施予定月	実 施 項 目	健診依頼病院
2月～6月	深夜業務就労者健診（対象：夜勤業務従事者）	佐故医院
8月～9月	一般健診（対象：35歳以下・非正規職員）	榛原医師会
10月～11月	ストレスチェック	榛原医師会
12月～1月	生活習慣病予防健診（対象：35歳以上）	榛原総合病院
* 健診指定月	特殊健康診断（腰痛健康診断）対象：介護士・看護師	
* 随時	雇い入れ時健康診断（新規採用者）	佐故医院

令和7年度 身体的拘束適正化検討委員会 活動計画

令和7年度の取り組み

- ・ 身体拘束ゼロの理解に努める。
- ・ 身体拘束ゼロを目指し進めていく。
- ・ 身体拘束、相談、発見、発生時のフローチャートを確認し、活用ができるように進めていく。

令和7年度 虐待防止委員会 活動計画

令和7年度の取り組み

- ・虐待の芽を摘む活動に努める。
- ・フローチャートと高齢者虐待相談シートを確認し、活用できるように進めていく。

令和7年度 褥瘡対策委員会 活動計画

内容 褥瘡の原因を排除し、身体の状態、栄養、皮膚状態を観察し褥瘡リスクを検討し状況に応じた対策を行い予防に努める。

令和6年度 月別褥瘡人数・傷処置回数表

月	褥瘡人数	2階傷処置回数	3階傷処置回数
4月	2	148	228
5月	2	179	176
6月	2	177	240
7月	3	239	261
8月	3	116	130
9月	2	97	208
10月	5	100	321
11月	2	94	293
12月	5	86	313

目標 処置回数を減らすことが褥瘡予防へと繋がるため、以下のことを徹底していく。

- ・保湿剤、アームカバーで保護し傷をつくらない。
- ・服は伸びる素材の服を着る。
- ・背抜き、足抜きの徹底
- ・車椅子では15分に一回のプッシュアップ
- ・圧迫・摩擦・ズレの予防
- ・職員のスキル向上の勉強会開催

令和7年度 感染対策委員会 活動計画

【方針】

感染症発生時に継続的な業務及びケアが行えるような組織づくり

【長期目標】

- 1 入居者、利用者様、職員、地域における感染状況の把握と分析を行い、感染症予防に移行することができる。
- 2 感染症発生時は、施設全体でまん延防止のために取り組むことができる。

【短期目標】

- 1-1 感染の兆候を把握し、初期対応ができる。
- 1-2 感染症発生時に今後の予測を立てた業務、ケアが行える。
- 2-1 感染症発生時にフローチャートに沿った報告、連絡ができる。
- 2-2 感染症発生に感染対応マニュアルに沿った対応ができる。
- 2-3 標準予防策に沿った業務、ケアが行える。

【活動内容】

- ・感染対応マニュアルの適宜見直しと作成。
- ・感染症発生時を想定した机上訓練を行う。(1回/月)
- ・感染症発生時を想定した実施訓練を行う。(1回/月)
- ・環境整備
- ・職員研修の実施(2回/年)

実施予定月	研 修 内 容	講師予定
8月	感染予防研修①(基礎知識取得)	施設職員 藤田看護師
R8 1月	感染予防研修②(基礎知識取得)	榛原総合病院 特定認定看護師 感染管理

令和7年度 排泄推進担当会議 活動計画

- ・排泄ケアは、羞恥的なケアであり環境を整えて、プライバシーを尊重する。
- ・入居者様個々の排泄パターンを把握し、入居者様1人ひとりの機能に沿った排泄ケアを行う。

令和7年度 広報担当会議 活動計画

(旧：ホームページ担当会議)

令和7年度の取り組み

- ・ ホームページや SNS 等を駆使して「うたしあ」の活動を発信する。
- ・ 産業フェア等地域のイベントに積極的に参加し、「うたしあ」の広報活動を通して地域の活性化に貢献する。

令和7年度 行事企画担当会議 活動計画

目標 「見る・知る・楽しむ」

うたしあでの生活が、利用者様のみならず私たち職員にとっても、より良い時間になるような活動を目指していきます。

【令和6年度活動内容】

「かき氷模擬店」 「クリスマス会」 「お餅つき」

※ 各活動共に、利用者様に喜んで頂けました。

【令和7年度活動目標】

今年度も「見る・知る・楽しむ」という活動目標のもと、利用者様に喜んで頂ける行事企画を提案していきます。

【令和7年度活動計画】

- ・ 季節に合った企画を考えていきます。
- ・ 前年同様に、全体で行う行事のほかユニット単位や各階フロアでの行事も、行事委員を中心に企画し取り組んでいきます。

防災対策会議

令和7年度活動計画

災害対策マニュアル（火災・地震・津波・洪水等）の整備、見直しを行い、災害時に迅速、的確な対応ができるよう、防災力の強化を図る。

防 災 計 画

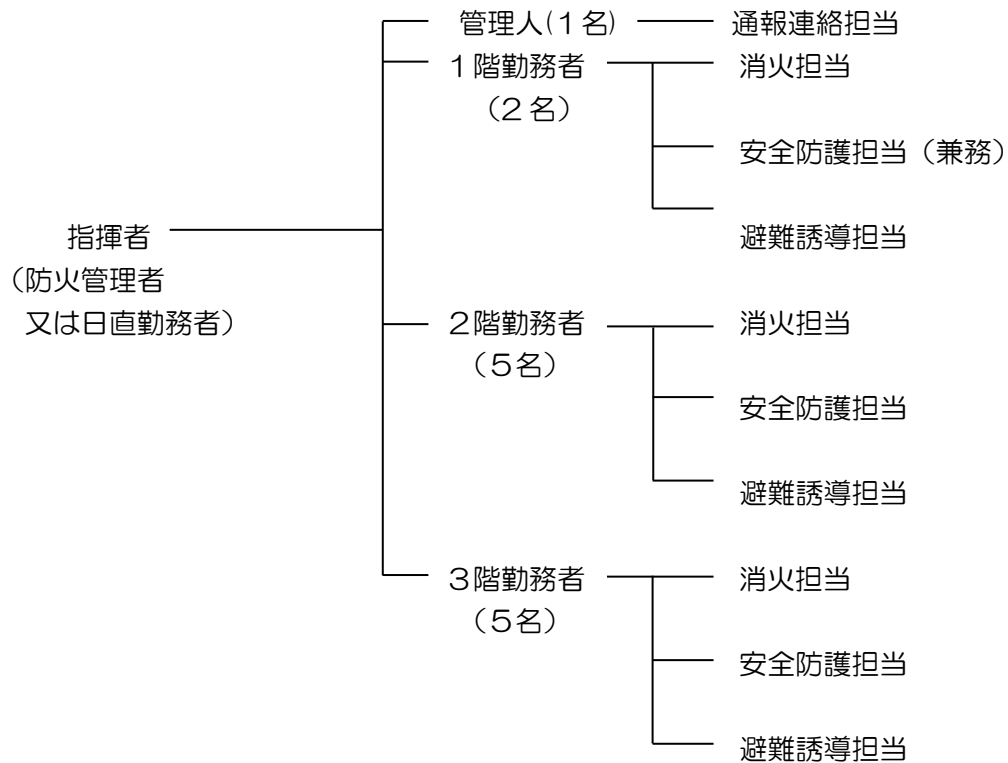
目 的 消防法第8条第1項に基づき、社会福祉法人 花草会の防火管理についての必要事項を定め、火災、南海トラフ地震、土砂災害、その他の災害の予防と人命の安全・被害の軽減、事業継続計画を図る。

令和7年度 自主防災訓練計画

項目	対象者	実施回数
防災対策会議	防災対策会議 構成員	毎月
防災教育	新規採用職員	採用時
厨房職員防災教育	厨房職員・栄養士	年1回
津波避難訓練	デイサービス	年2回
消火・通報訓練	全職員	年1回
総合防災訓練	全職員	年2回
防災資機材点検	防災対策会議 構成員	年1回
施設内自主検査	防災対策会議 構成員	年2回 (4月・10月)

土日、夜間の防火管理体制

1 土日の指揮体制（全員、手薄な箇所を助けること）



2 夜間の指揮体制（全員、手薄な箇所を助けること）

出火階の勤務者が通報連絡担当を兼務する

